令和8年 11 月 14 日
於 秋葉台小応接室
司会 副校長 記録 蛭田 五味
出席者：校長 内藤
委員：本吉 鈴木 小國 吉岡

第 7 回 学校運営協議会 議事録

1. 校長より
・本日は学習発表会。午前中から大盛況だった。
・先月、別所子ども祭りが開催された。キャリア教育として、各校お店を出した。当日は児童の頑張りもあり、行列ができるほど多くのお客さんが来てくれた。ぜひ来年度もやってみたいという声が聞かれた。
・芋掘り体験。本日 2 年生が行った。来週学運協で掘って、3 学期の給食へ。
・来年度の喫食日数 195 日。（来年度 1 日だけ実験的に土曜日に給食を提供予定。）
・来年度のクラス数について。
・来年度異動等 7 名。
・登校時刻、教職員の勤務時間の変更について。

2. 生活指導主幹より
・学校安全。⇒生活安全、交通安全、災害安全について。
・6，11，2 月ふれあいアンケート。いじめの認知について。各家庭と連携。
・相談できる大人⇒親、先生、習い事のコーチ…など。いない児童については見守りを行っている。
・学運協のみなさんには引き続き見守っていただきたい。

3. 学習発表会について＆学運協委員活動報告
・学校運営協議会の委員の皆様より
子どもの発想、表現の豊かさに驚かされた。
・八王子市内の担当エリアは、かつて非行歴が多い地域だったが、最近は落ち着いてきている。
・警察の統計や記録には表れないものの、万引きや暴行等で補導・検挙された少年との面接を通じて、中学生や小学校低学年から大麻を経験している実態が浮かび上がっている。
・マーケティングの視点を取り入れた発表や、実用性を意識したクッション制作など、目的意識を持った取り組みがよい。
・木っ端（端材）を使った家の工作では、『あつ森』や『マイクラ』などのゲームの影響もあってか、空間認識力や細部の作り込みが非常に高度で、現代ならではの感性が見られた。
・刺し子などの作品において、糸の調節が難しいにもかかわらず雑なものが一つもなく、教員の丁寧な指導が行き届いていることがうかがえた。
・児童が自ら考え、実践し、課題を見つけて解決へ導く一連の学習プロセスを、教員がしっかり見守り最後までやり遂げさせている点がよい。
・学習発表会の開催時間（開始・終了時刻）がホームページ等に掲載されておらず分かりにくかったため、事前の情報発信の改善が求められた。
・中学 1 年生が祭りの射的コーナーで出題したクイズに、以前地域学習で伝えた内容が取り入れられていた。
・教科書や資料だけでは得られない「実体験を通じた学び」や「地域の協働」が、子どもたちの記憶にしっかりと根付いていることが確認された。
・収穫物（オイモ）の保管場所はしっかり確保してあり、いつでも受け入れ可能である旨が共有された。
・30 年前は荒れていた印象があった地域も、現在では非常に良い地域コミュニティへと変化しており、安心して暮らせる環境になっている。
・自身の子どもも、相談できる良い友達がそばにおり、その友達と一緒に先生へ相談に行くことができた。
・良好な友人関係を育む環境づくりと、トラブルに真摯に対応してくれる教員の姿勢に対し、この学校に通わせてよかったという深い感謝の意が述べられた。

4. その他
次回開催予告。12 月 8 日（火）15：30～